

	建造物設計標準（鋼鉄道橋） 許容応力度	
--	------------------------	--

1. 許容応力度（疲労を考慮しない場合）

単位 : kg/cm<sup>2</sup>

応力の種別		鋼種	SS400	SM490	SM490Y	
		SM400		SM520		
		SMA400		SMA490		
構造用鋼材	引張	1400	1900	2100	純断面(*1)	
	圧縮				総断面	
	せん断	1100	1100	1200	総断面	
	支圧応力度	2100	2800	3100		
溶着部	グルーブ溶接	RIを行なう	引張・圧縮	1400	1900	2100
		RIを行なわない	引張 圧縮	1120 1260	1520 1710	1680 1890
		共通	せん断	800	1100	1200
	すみ肉溶接		ビード方向 引張・圧縮	1400	1900	2100
			のど厚 引張・圧縮・せん断	800	1100	1200
	現場溶接	引張	上記×0.8			ビード方向の場合×1
		圧縮	上記×0.9			
		せん断	上記×0.9			

注) (\*1) RI 放射線検査合格基準 引張継手 JIS Z2341-‘55 の 2 級以上  
圧縮継手 " 3 級以上

(\*2) 純断面は、総断面からボルト穴、リベット穴を除く

2. 疲労許容応力度（両振の片振幅）

応力の種別		鋼種	SS400	SM490	SM490Y	
		SM400		SM520		
		SMA400		SMA490		
構造用鋼材	引張	900				
	圧縮					
	せん断	541				
溶着部	Aランク	引張・圧縮	900			
	B	"	750			
	C	"	618			
	D	"	460			
	S1	せん断	541			
	S2	"	482			

RI 放射線検査合格基準 引張継手 JIS Z2341-‘55 の 1 級以上

圧縮継手 " 2 級以上

3 級の場合は、次の係数をかける。 引張=0.8、圧縮=0.9